

開発品の主な進捗状況

開発品の主な進捗状況

(2023年4月25日現在)

★「オブジーボ」との併用試験

※がん領域の開発品において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しています。

■ がん領域の主な進捗状況

製品名/開発コード/一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
オブジーボ点滴静注	注射	悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く)	■■■■■				日本
		肝細胞がん	■■■■■				日本・韓国
		卵巣がん	■■■■■				日本・韓国・台湾
		膀胱がん	■■■■■				日本・韓国・台湾
		前立腺がん	■■■■■				日本・韓国・台湾
ヤーボイ点滴静注液*	注射	胃がん	■■■■■				日本・韓国・台湾
		尿路上皮がん	■■■■■				日本・韓国・台湾
		肝細胞がん	■■■■■				日本・韓国
ONO-7913/Magrolimab	注射	TP53変異陽性急性骨髄性白血病	■■■■■				日本
		急性骨髄性白血病	■■■■■				韓国・台湾
		膵がん*	■■				日本
		結腸・直腸がん*	■■				日本
		固形がん	■■				日本
		骨髄異形成症候群	■■				日本
ピラフトビカプセル	カプセル	甲状腺がん	■■■■■				日本

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
メクトビ錠	錠	甲状腺がん	■	■			日本
ONO-4686*	注射	固形がん	■	■			日本
ONO-4482*/Relatlimab	注射	悪性黒色腫	■	■			日本
ONO-7475	錠	固形がん*	■				日本
		EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺がん	■				日本
ONO-4578	錠	結腸・直腸がん*	■				日本
		膵がん*	■				日本
		非小細胞肺がん*	■				日本
		固形がん・胃がん*	■				日本
		ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん	■				日本
ONO-7119*/Atamparib	錠	固形がん	■				日本
ONO-7122*	注射	固形がん	■				日本
ONO-7914*	注射	固形がん	■				日本
ONO-4059	錠	中枢神経系原発リンパ腫	■	■			米国
ONO-4685	注射	T細胞リンパ腫	■				米国
ONO-7018	錠	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病	■				米国

開発品の主な進捗状況

■ がん領域以外の主な進捗状況

製品名／開発コード／一般名	剤型	予定効能	開発ステージ				国・地域
			PI	PII	PIII	申請	
ベレキシブル錠	錠	天疱瘡					日本
ONO-2017/Cenobamate	錠	てんかん強直間代発作					日本
		てんかん部分発作					日本
ONO-2910	錠	糖尿病性多発神経障害					日本
ONO-2808	錠	神経変性疾患					日本・欧州
ONO-4685	注射	自己免疫疾患					日本・欧州
ONO-7684	錠	血栓症					日本・欧州
ONO-2020	錠	神経変性疾患					米国
ONO-1110	経口	疼痛					日本

TOPICS

ライセンス活動

昨年12月、Equillum社(米国)と、同社が保有するファーストインクラスの抗CD6抗体「itolizumab」について、独占的オプション権付アセット買収契約を締結しました。

itolizumabは、現在、海外で急性移植片対宿主病(aGVHD)を対象に第III相試験、ループス腎炎を対象に第Ib相試験が進められています。

当社は、オプション権を行使後、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドで適応症にかかわらずitolizumabを商業化する権利を取得します。今回の契約締結により、免疫領域における研究開発を強化し、革新的な治療薬の創出を目指します。

提携活動

当社は、世界の有望なアカデミアやベンチャー企業などと研究開発で協働するオープンイノベーションを生命線と位置づけ、提携活動を積極的に進めています。

■ 提携契約実績(2022年度)

	提携先企業・大学(所在国)	提携内容
2022年4月	Domain Therapeutics(仏) Montréal大学(カナダ)	代謝性疾患領域におけるGタンパク質共役受容体(GPCR)を標的とした新規の低分子化合物の創製を目的とした創薬提携契約
6月	Fate Therapeutics(米)	固形がんに対するiPS細胞由来CAR-T細胞およびCAR-NK細胞療法の提携を拡大
8月	ナレッジパレット(日本)	データ駆動型の新薬創出基盤の構築を目的とする共同研究を拡大する契約
11月	Memo Therapeutics(スイス)	がん免疫領域における抗体医薬品を創製するための創薬提携契約
	Fate Therapeutics(米)	固形がんに対するiPS細胞由来のHER2 CAR-T細胞療法に関して創薬提携契約のオプション権を行使
	Captor Therapeutics(ポーランド)	神経変性疾患領域におけるタンパク質分解誘導低分子医薬品を創製するための創薬提携契約
12月	PrecisionLife(英)	複数の治療標的などの同定に関する共同研究開発契約
2023年1月	Monash大学(豪)	自己免疫疾患および炎症性疾患領域における抗GPCR抗体を創製するためのオプション権付き研究提携契約
	KSQ Therapeutics(米)	同社が保有するがん領域における複数の創薬プログラム取得に関する契約
2月	Cue Biopharma(米)	二重特異性融合タンパク質「CUE-401」に関するオプション契約および提携契約
3月	ペプチドリーム(日本)	特殊環状ペプチド医薬品の創製に関する創薬提携契約
	MOLCURE(日本)	AI創薬プラットフォーム技術を活用した複数の標的に対する抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約
	Macomics(英)	腫瘍免疫領域においてマクロファージの新規標的を対象とした抗体医薬品の創製に関する創薬提携契約

環境への取り組み

■ 新たな中長期環境目標を設定

2023年3月、持続可能な社会の実現に向けて環境への取り組みを強化すべく、2019年に策定した中長期環境ビジョン「ECO VISION 2050」の目標を見直しました。

【見直しのポイント】

- ✓ 自社の温室効果ガス排出量をゼロにする時期を、2050年度から2035年度へ前倒し
- ✓ 自社のカーボンニュートラルを2025年度までに達成
- ✓ 2017年度比で、2030年度の自社事業所での水使用量増加率を売上成長率以下にする
- ✓ 水質汚染リスク管理および取引先のリスク管理を強化する
- ✓ 2030年度までに研究所、工場での全不要物の再資源化率を80%以上にする
- ✓ 2030年度までに当社製品の個装箱に使われる紙をすべて環境配慮素材とする

詳細に関しては、当社ウェブサイトのサステナビリティページをご覧ください

<https://sustainability.ono-pharma.com/ja/themes/106>



■ CDP2022「気候変動」「水セキュリティ」の2分野で 最高評価Aリストに選定

国際環境非営利団体であるCDPより、気候変動および水セキュリティに対する対策が評価され、CDP2022「気候変動」および「水セキュリティ」の2分野で、権威あるAリストに選定されました。「気候変動」では、5年連続のAリスト選定、「水セキュリティ」では、2年連続のAリスト選定となります。



■ 国内で医療用医薬品の共同輸送を開始

2023年1月より、当社は塩野義製薬株式会社、田辺三菱製薬株式会社、株式会社エス・ディ・コロボと、医療用医薬品を共同輸送する取り組みを始めました。

医薬品物流においては、輸送・保管過程において厳格な品質の担保および流通過程の完全性が求められます。今回の共同輸送では温度管理を含む品質の担保の向上を図るとともに、運行台数の削減によるCO₂排出量削減のほか、運送ドライバーの人手不足や高齢化といった課題の解決にもつなげます。

